

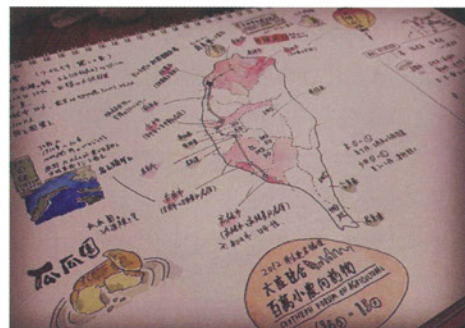
CBMOC会員様インタビュー Vol.3

東京・大阪・福岡。3拠点の各地にいらっしゃるお客様が、もっと他のお客様のことを知ることのできる機会をつくりたい！という想いから、今号もCBMOC会員様のインタビューを掲載させていただきます。
今回は、福岡県で事業を営む、株式会社クロスエイジの代表取締役、藤野直人様にインタビューしました。



◆プロフィール

お名前：藤野直人 社長歴：14年目
趣味／休日の過ごし方：全国の生産者様やお客様のもとへ向かう仕事のため、仕事をしてからそのまま旅へ行くこと、旅をしてからそのまま仕事に行くことが多いです。



◆座右の銘

「世に生を得るは事を為すにあり」

中学3年生の時にこの言葉と出会いました。生まれてきた以上、何か成すべきことがある、という意味です。どうやら坂本龍馬も同じことを言っているようです（笑）坂本龍馬は31歳で亡くなりましたが、歴史を動かす大きなことをやり遂げました。自分はもうその歳を超えてしまっていますが、成すべきことをきちんと成し遂げたいと考えています。

◆あなたの願掛けは

朝の4時～8時の時間帯を穏やかに過ごすこと。朝起きて、激しいエクササイズをしたり、仕事をしたり、といった活動的な行動はしないようにしています。この時間は、自己啓発やストレッチがメインで、ルーチンを意識しています。

◆これまでの経緯

小学校の低学年頃に「王様になりたい」という夢を持っていました。「お金持ちになりたい」という想いから、「南の島の小さな国の王様くらいにはなれるかな？」と思っていました（笑）もちろん、サッカーをやっていた時に「リーグが発足したので、サッカー選手になることも考えましたが、中学3年生でNHKのあるドキュメンタリーを見たんです。ビル・ゲイツの特集の中で、マイクロソフト本社の通称:キャンパスを見た瞬間、「これぞ王様だ！」と思いました。「自分でこの世界観を作り出せるんだ。これを実現している人があるんだ！」と昔からの夢である「王様になりたい」という想いが再燃しました。「なろうと思えばなれるのか!」と気づき、起業家という存在に興味を持ちはじめました。そして、日本の起業家といえば孫正義さんだと考え、彼の本を読んで勉強しながら、中学3年生で「将来は起業をして、社長になろう」と決意しました。

ただ、「今王様になりたいか」と言われれば、そうではありません。今は人生の達人やコミュニケーションの達人になりたい、と思っています。しかも、得意なことでも達人になるのではなく、苦手なことを克服して達人になれるといいですよね。将来は「1人1人とのコミュニケーションを大切にしていた人だった」と言われたいですし、「能力があるから」「資産があるから」で話題になるのではなく、何となく慕ってもらえる人でありたいんです。会社を安心してできる場所にしたいからこそ、「うちの社長は信頼できるよね!」と思ってもらえるようになりたいですね。

◆経営者になって一番大変だったこと

「人」との関わりで苦労しました。自分の経営者としてのストーリーは、結構、単純だと思っています。「王様になりたい」という想いから、中学3年生で起業家を目指し、大学を卒業してから起業しました。起業してから3年後に人を雇うようになりました。ただ、その1つの人生しか歩んでいないんですよね。だから、社員の気持ちが分からない時期がありました。今はその時期を経て、夢やビジョンも大切ですが、コミュニケーションが大切だと考えています。

以前は理念やビジョンがあれば、社員が努力してくれようと思っていました。だから、不満を持って人が辞めていっても、素直に受け入れられなかったんです。ただある時、社員2名がメンタルの問題で辞めることになり、そのうちの1人は自分を心から支えてくれた創業メンバーでした。「ついていきたい」と言ってくれていても、辞めてしまうということは、「やりがい」だけではダメなんだと気づきました。彼らが辞めてから手紙や声かけなど、プライベートでも関わる中で、「ここまで人と向き合ったことがあったかな?」と振り返ってみると、社員と全然向き合うことができていませんでした。夢を持って入社してきた社員が数年後、ボロボロになっていく姿を見て、価値観が変わりはじめたと思います。むしろ、社長という立場は、ここまで大きな出来事がなければ、自分の価値観は変わらないと思いますね。



毎年恒例の職場でのBBQの様子



◆社員が育ったなあと感じたエピソード

10期・11期の時、社員のMさんが1人で2000万円の粗利を達成したことです。私は一人で2000万円の粗利が出せるビジネスモデルがなければ、いくらコミュニケーションがとれていても、企業は成長することができないと考えています。Mさんが達成してくれたからこそ、コミュニケーションを重視することが可能になり、私は今、未来を考える時間を作っています。ビジネスモデルは社長が作るべきことではありますが、本人がそのビジネスモデルに工夫を加えたからこそ、成し遂げられたことです。しかし、これは正直、会社としては「ラッキー」でした。同じ状況で人が辞めていく中で、Mさんは辞めずにしっかりやりきってくれたから生まれた状況です。私は彼を育てたという覚えがなく、自分で育ててくれたと思っています。1人ができるようになれば、他の社員を同じ状態で引き上げることは可能です。しかし、その最初の突破口を作ることが一番難しいと思います。だからこそ、それをしてくれたMさんの達成は本当に嬉しかったです。

◆社員との関係の質を上げるために意識していること

社員1人ずつのファイルがあり、履歴書からわかる誕生日や経歴などの情報が書いてあります。また、その情報からその社員の人生のためにアドバイスしたいことやその人に求めていることなど、彼・彼女らに伝えたい内容は何かを考え、更新するようにしています。このファイルは自分で管理・更新をして、それぞれの誕生日や研修が一緒になる時など、年に1回は見返し、その情報を参考に想いを伝えています。また、誕生日の月には社員1人1人に手紙を書くのですが、その際はこのファイルを元にメッセージを書くようにしています。

周りの環境と本人がどうしたいのかという想いで、そのメッセージが変わることがありますが、その人のタイプやそれぞれが思い描く人生は基本的に変わりません。これまでコミュニケーションに苦労したからこそ、こういったコミュニケーションを大切にしたいと思っています。

◆会社概要

社名：株式会社クロスエイジ
代表者名：藤野直人
業種：農業総合プロデュース
本社所在地：福岡県春日市
従業員数：34名
MOC 継続年数：2期目



◆経営者の仕事を一言で言うと?

「変えること」
採用のやり方を変える、マニュアルを変える、役職ごとの役割を変える、といった常に変えることを大切にしています。それを変えずに止まってしまうと、会社は成長していかないと考えます。新規事業もお客様を獲得することも変えることの1つです。

◆最近勉強になった本

『男の絵日記— 15分で描くライフスケッチ』

もちろん、様々な経営者向けの本を読んでいます。そういう書籍をあげても面白くないですよ（笑）社員から「社長の絵を描いているところがいいなあ」と言ってもらえたので、このスケッチブックの本を紹介します。趣味が旅行をすることなので、その県ごとの地図を描いたり、お気に入りのバックを描いたり、行く先々で描くようにしています。その他にも参加したセミナーのタイトルや着ている洋服も描きました。一応、自分の中では15分で描くようにしています。SNSの手軽さがあまり好きではなかったため、あえて写真を撮ってアップするのではなく、自分で書いたその絵をアップしています。



◆担当の柴田より一言

一年程前から藤野社長の担当をさせていただいております。一般的に「経営者」と聞くと、常に仕事に追われているイメージですが、藤野社長は仕事と趣味の境目が無い経営者様です。「仕事だから」「プライベートだから」という言葉を聞いたことがありません。それは本当に藤野社長が「やりたいことをお仕事にされている」からだと思います。一方で、研修中でも真顔で下ネタをお話される、茶目つけたっぷりな藤野社長は、本当に魅力的な経営者様です。

◆MOC会員様に伝えたいこと

失敗は人生を豊かにします。私も失敗話をたくさんお話ししますので、ぜひ皆さんもたくさん教えてください！もちろん、守秘義務は必須です（笑）